

「コバイモあれこれ」

NPO 法人もりふれ倶楽部理事 佐藤 仁志

みなさんはコバイモと聞いてどんなものを思い浮

かべられるでしょうか？

バイモはアミガサユリとも呼ばれ、よく庭などに



観賞用として植えられています、古く中国から薬用植物として渡来したもので、日本本来の植物ではありません。

日本に自生するユリ科バイモ属には、高山植物として知られているクロユリとコバイモ（小貝母）類があります。コバイモ類は日本にだけ自生する日本固有種で、現在8種が知られています。私たちがよく耳にするのは、マスコミなどでよく取り上げられるイズモコバイモでしょう。

イズモコバイモは、1974（S49）年に地元の植物愛好家が、出雲市佐田町反辺（たんべ）地区の道路わきで採集したのが発見の始まりです。島根県内にはホソバナコバイモが自生していることが以前から知られており、当初はホソバナコバイモと考えられていました。しかし、植物学者の故丸山 巖先生（横田町）と奥様が比較栽培中に違いに気づかれ、1979（S54）年に丸山・鳴橋両氏により新種として発表され、発見地の名前を冠してイズモコバイモと命名されました。このイズモコバイモは、8種のコバイモ類の中でも花がよく開出し美しいことから山草愛好家に好まれており、自生地では盗採等が後を絶たないのが現状です。

昨年、イワミコバイモが新雑種として発表されたことは、ほとんどのみなさんがご存じないと

思います。江の川周辺に自生しているコバイモが、イズモコバイモとホソバナコバイモの雑種であることが明らかになり、イワミコバイモと命名されたのです。写真のように、両種のコバイモの中間型を呈しており、ホソバナコバイモの花の先がイズモコバイモのように開いたような花をつけます。



▲イズモコバイモ(左)とホソバナコバイモ(右)

▲イワミコバイモ

イズモコバイモの自生地として、現在は川本町の自生地が有名で、毎年マスコミに取り上げられますが、川本町は『石見』の国で「イズモ『出雲』コバイモ」の名前のイメージとは何となく違和感を覚えます。とりわけ、イワミコバイモが発表された現在では、より強く感じるのは私だけではないと思います。

発見地の流れとしては、最初に現在の出雲市佐田町で発見され、次に大田市大江高山、そして川本町などの順ですが、最初の発見地である出雲市佐田町反辺地区の自生地では、盗採や環境の悪化などによりほとんど見られなくなっていました。ところが、発見地のすぐ近くの安食幸子氏宅の裏山に一大群生地が残っており、川本町の群生地にはひけをとらない規模と生育環境のよさがみられます。この群生地は、故安食照雄氏（幸子氏の夫）が長年管理を続けてこられました。が、数年前にお亡くなりになったことや、幸子氏が高齢で一人暮らしであることなどから、今後の管理に不安があり、早急な対応策が必要な状況です。島根県や出雲市に保護管理について呼びかけを行いました。が、必要性は感じつつも特に積極的な動きがなく、やむなく、安食幸子氏の

長女である山本久美子氏（出雲市遥堪町在住）と私が発起人となって、「発見地反辺のイズモコバイモを守る会」を設立し、群生地 of 適切な管理を行い保護していくとともに、絶滅危惧種であるイズモコバイモ保全の必要性を広く啓発していくことにしました。イズモコバイモは、毎年の草刈など人の手が入らなければ年々減少し、やがて消滅してしまいます。また、愛好家による盗採等のリスクも脅威です。そこで、今年度から助成金を得て草刈や標識類・歩道等の整備を行うこととし、11月に最初のボランティア作業を計画しています。

イズモコバイモ（出雲小貝母）は、やはり出雲にふさわしい植物と思います。そして、発見地である佐田町反辺地区で群生地を守っていくことは、大きな意義があると思います。ぜひ多くの方のご協力を賜り、地域の宝として後世に引き継いでいきたいと思いますので、ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

*お問い合わせ等は、佐藤（[TEL:090-8991-8352](tel:090-8991-8352)、Eメール：sato@sx.miracle.ne.jp）までお願いします。



反辺の自生地

令和元年度 もりふれ倶楽部の歩み

6月4日(火) 緑の少年団出前講座13 (朝波小学校)

太田市立朝波小学校1・2年生28名に対して森のお話と木切れ工作
3年生13名に対して森林保全の話と樹木観察、4年生14名に対して
森林保全の話とネイチャーゲームの指導を行いました。

指導 野田真幹、池田友紀



6月5日(水) 緑の少年団出前講座14 (掛合小学校)

雲南市立掛合小学校3年生16名に対して森林保全の話と木切れ工作、4年生
14名に対して森林保全の話と間伐材の和紙作り体験、5年生26名に対して森
林保全の話と飾り炭づくりの指導を行いました。

指導 野田真幹、藤原人美

6月5日(水) 島根県みもサマースクール (松江清心養護学校)

島根県みもサマースクールの一環として、島根県立松江清心養護学校の児童5名と先生6名に対して、
森林散策・たき火クッキーづくり・ネイチャークラフト体験等の指導をおこないました。

指導 中村正志、森下美津子、戸谷広子

6月6日(木) 島根県立出雲商業高等学校対応

島根県立出雲商業高等学校において商業美術科3年生に対して林業技士
野田真幹氏が「森林保全の大切さ」の講義をし、森林インストラクター
中村正志氏が「木育の森」の樹木学習を指導しました。

指導 野田真幹、中村正志



6月6日(木) 松江市出雲郷保育園対応

松江市立出雲郷保育園の先生たち8名に対して、園児の森林体験に関するレク
チャーをネイチャーガイド池田友紀氏等の指導で行いました。

指導 池田友紀、藤原人美

6月8日(土) 「里山塾」第2回山仕事編

島根県立ふるさと森林公園において、「里山塾」の山仕事編の2回を開催
しました。参加者は2班に分かれ丸太を使ってチェーンソーワークの訓練を
行いました。

講師 野田真幹、豊田真樹子、吉川奈月





6月9日（日）第2回里山自然塾

島根県主催の第2回里山自然塾「新緑の里山で笹を楽しむ～本格的な笹巻づくり
煎茶でいっぷく」を参加者37名で実施しました。

講師 野々村俊成、中村正志、池田友紀 スタッフ 藤原人美、宮崎徳子

6月10日（月）江津市立江津東小学校対応

江津市立東小学校4年生対し、島根森林インストラクター4名による第3
回森林教室「雑木林について学ぼう！」を実施しました。第3回では林業技
士・野田真幹氏による「雑木林と人との関り」のお話と同氏等の指導による
無煙炭火器で作る焼き芋（ジャガイモ）と飾り炭作り、広葉樹伐倒見学の体験
等を通して「雑木林」と人との関わりについて意識を深めてもらいました。

指導 野田真幹、野々村俊成、池田友紀、豊田真樹子



6月11日（火）緑の少年団出前講座15（柿木小学校）

吉賀町立柿木小学校5年生18名に対して、人工林の間伐の大切さの
話と間伐材の皮での和紙作りの指導を林業技士・野田真幹氏等が行いま
した。

指導 野田真幹、高濱実樹恵



6月12日（水）浜田市教育委員会対応

浜田市教員生活科部会の先生たちに対して、森林に関するレクチャーと
竹焼米粉ケーキ作りの指導を行いました。

指導 池田友紀、藤原人美

6月12日(水)島根県みもサマースクール（松江市島根町、鹿島町小中合同）

島根県みもサマースクールの一環として、松江市島根町、鹿島町小中合同（島根小学校、島根中学校、
鹿島東小学校、鹿島中学校、佐太小学校、恵曇小学校）生徒17名と引率教員8名に対して、森林散策・飾
り炭づくり・たき火クッキーづくり・ネイチャークラフト体験等の指導を行いました。

指導 中村正志、野々村俊成、森下美津子、戸谷広子、大峠百代、浜村悦郎、福岡茂明、服部恵子



6月13日（木）緑の少年団出前講座16（古江小学校）

松江市立古江小学校5年生41名に対して森のお話と間伐材を使った和紙
作りの指導を林業技士・野田真幹氏と島根県森林インストラクターの池田友紀
氏・藤原人美氏が行いました。

指導 野田真幹、池田友紀、藤原人美

6月13日（木）緑の少年団出前講座17（八雲中学校）

松江市立八雲中学校1年生54名に対して森林保全の作業を前に、島根の森の
概況と人工林の育て方等の話と、間伐材を使った和紙作りの指導を林業技士・野
田真幹氏等が行いました。

指導 野田真幹、宮崎徳子





6月14日（金）第2回み～もスクール（布部小学校）

安来市立布部小学校1・2年生に対して、第2回み～もスクールとして人工林の間伐のお話と草木染めの指導を行いました。

指導 野々村俊成、藤原人美、野田あや子



6月14日（金）第1回み～もスクール（高山小学校）

大田市立高山小学校1・2年生に対して、第1回み～もスクールとして森の生き物のつながりの話と植物観察、「森の美術館」の指導を行いました。

指導 池田友紀、服部恵子、野田真幹



6月16日（日）セーブジャパン対応

佐田町吉野林地において、出雲西高等学校インターアクトクラブのメンバーと一般参加者の方に対して「ツキノワグマと同じ時代に生きる幸せ～人とクマの環境づくり」をテーマに講義と現地見学会を行いました。（雨天作業中止）

講師 野田真幹、中村正志、池田友紀、福岡茂明

スタッフ 岡田邦博、土山幸延、内田百合子、藤原人美

6月21日（金）第2回み～もスクール（西小学校）

雲南市立西小学校4年生に対して、第2回み～もスクールとして人工林についてのお話と林業作業体験の指導を行いました。

指導 野田真幹、野々村俊成、中村正志、響繁則、野田あや子、藤原人美



6月22日（土）川本研修

川本町主催「伐木・造木・集材研修」において「森の名手・名人」認定者響繁則氏による現地伐倒研修、Sジット女性指導者豊田真樹子氏、吉川奈月氏による目立てとチェーンソーワークの基礎研修を実施しました。

講師 野田真幹、響繁則、豊田真樹子、吉川奈月

6月22日（土）第3回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第3回大人のための自然観察会を開催しました。 指導 中村正志

6月25日（火）緑の少年団出前講座18（都茂小学校）

益田市立都茂小学校1・2年生12名に対して「森の話」と「樹木学習」
3・4年生に対して「人工林の話」と「間伐材の和紙作り体験」5・6年生
17名に対して「森林保全の大切さの話」と「飾り炭づくり体験」を林業技士の野田真幹氏、樹木医の浅浦徹氏・島根県森林インストラクターの高濱実樹恵氏が指導しました。

指導 野田真幹、浅原徹、高濱実樹恵



6月26日（水）緑の少年団出前講座19（宍道小学校）

松江市立宍道小学校4年生45名に対して「森林保全の大切さの話」と「ネイチャーゲーム」を林業技士・ネイチャーゲームリーダー野田真幹氏等が指導しました。

指導 野田真幹、藤原人美、宮崎徳子

6月26日（水）緑の少年団出前講座20（田井小学校）

雲南市立田井小学校3年生2名と4年生2名に対して「人工林の話」と「間伐材の和紙作り体験」を林業技士の野田真幹氏、島根県森林インストラクター藤原人美氏が指導しました。指導 野田真幹、藤原人美



6月27日（木）緑の少年団出前講座21（頓原小学校）

飯南町立頓原小学校5年生14名に対して「森林保全の大切さの話」と「木ぎれ工作」と「ネイチャーゲーム」を林業技士・ネイチャーゲームリーダーの野田真幹氏、島根県森林インストラクター藤原人美氏が指導しました。指導 野田真幹、藤原人美



6月28日（金）第2回みーもスクール（高山小学校）

大田市立高山小学校5, 6年生に対して、第2回みーもスクールとして「人工林」に関する講義と「林業体験」「紙漉き」の指導を行いました。指導 野田真幹、野々村俊成、豊田真樹子、藤原人美



7月1日（月）江津市立江津東小学校

江津市立江津東小学校4年生に対して、学校林（小学校裏）で樹木観察の指導を行いました。指導 池田友紀、豊田真樹子

指導 池田友紀、豊田真樹子

7月1日（月）第3回みーもスクール（西小学校）

雲南市立西小学校4年生に対して、第3回みーもスクールとして間伐材の和紙作り体験の指導を行いました。指導 野田真幹、野々村俊成、藤原人美

指導 野田真幹、野々村俊成、藤原人美



7月2日（火）第3回みーもスクール（高山小学校）

大田市立高山小学校3・4年生に対して、第3回みーもスクールとして「人工林のお話」と「竹細工」の指導を行いました。指導 野田真幹、野々村俊成、池田友紀、藤原人美

指導 野田真幹、野々村俊成、池田友紀、藤原人美

7月3日（水）安来市立赤屋小学校対応

安来市立赤屋小学校1, 2年生に対して「緑と水の森林ファンド」事業として樹木観察の指導を行いました。指導 池田友紀、宮崎徳子

指導 池田友紀、宮崎徳子



もりふれ倶楽部今後の予定

10月12日(土) 10時～15時 第7回 里山塾 山仕事「枝打ち講座」～座学と現地研修
梯子や安全帯の使い方を含め、スギ・ヒノキの枝打ちのポイントを学びます。
ボランティアリーダーとして指導したい方も是非ご参加ください。

☆参加者募集中：参加費 500 円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内
持ち物～ヘルメット、枝打ち鋸（ある方は）
定員 10 名（申し込み順）

10月13日(日) 10時～15時 第6回 里山自然塾「秋の里山でキノコを楽しむ」
キノコの採取、キノコ鑑定、キノコ汁等

☆参加者募集中：参加費 500 円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内
持ち物～飲み物・昼食・雨天時は雨具 定員 30 名（申し込み順）

10月14日(月・祝) 10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：江津東小学校林下
刈り

9時50分 江津東小学校駐車場集合

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメッ
ト・草刈り機・鎌
前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、交通費補助 2 千円を支給しま
す。場所のわからない方はご相談ください。

10月19日(土) 9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合
自然観察会（自然を撮ろう！カメラを持って集まろう！）。植物を学びたい方も
是非。

森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。

☆参加者募集中：参加費 100 円 持ち物～カメラ持参をお勧め
前日正午まで申し込みをお受けします。

10月26日(土) 10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：出雲郷幼稚園うぐいす
山 イベント前の総合整備（草刈り、枯損木除去、危険植物除去、竹伐採等）

9時50分 うぐいす山奥駐車スペース集合

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメッ
ト・チェーンソー・草刈り機・鎌・手鋸等
前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、交通費補助 2 千円を支給しま
す。場所のわからない方はご相談ください。

11月3日(日) 9時30分～12時30分 「楽山公園、秋の自然観察会と自作の竹食器でいただく秋の炊き込みご飯」

9時20分 松江市楽山公園テニスコート下駐車場集合

☆参加者募集中：参加費無料 定員30名(申し込み順)

11月6日(水) 13時30分～16時 作業路の匠 橋本光治氏(徳島県林家・内閣総理大臣賞受賞者)による災害に強い作業路づくり講座1. 座学「大橋式作業路とは」
現地実習「作業路のコース選定のポイント」出雲市佐田町スサノオホール会議室
と佐田町吉野林地

13時20分 出雲市佐田町スサノオホール会議室

☆参加者募集中：参加無料 定員10名(申し込み順)

11月8日(金) 13時30分～16時 作業路の匠 橋本光治氏(徳島県林家・内閣総理大臣賞受賞者)による災害に強い作業路づくり講座1. 座学「橋本林業の今」
現地実習「モデル作業路から学ぶ」出雲市佐田町スサノオホール会議室と佐田町吉野林地

13時20分 出雲市佐田町スサノオホール会議室

☆参加者募集中：参加無料 定員10名(申し込み順)

11月9日(土) 10時～15時 第8回 里山塾 山仕事「チェーンソー講座応用編」
限定された場所への伐倒をチルホールを使って実践

☆参加者募集中：参加費500円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内

持ち物～ヘルメット、チェーンソーと関連工具(無い方は事前相談ください)

定員10名(申し込み順)

11月16日(土) 9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合

自然観察会(自然を撮ろう!カメラを持って集まろう!)。植物を学びたい方も是非。

森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。

☆参加者募集中：参加費100円 持ち物～カメラ持参をお勧め

前日正午まで申し込みをお受けします。

11月17日(日) 10時～15時 飯南町県民の森木工館

煙と熾火の調理体験(簡易燻製・竹筒リゾット)で「遊」な時間を

9時50分 県民の森木工館集合

☆参加者募集中：参加費500円 定員20名(申し込み順)

11月23日(土) 10時～15時 第1回 故栗栖誠氏の山林復興ボランティアイベント

日本林業技士会島根県支部・島根県県林業研究グループ連絡協議会共催イベント

集合：栗栖山林入り口9時50分または、道の駅浜田夕陽パーク駐車場下段9時30分

※申し込み時に上記どちらに集合するか表明願います。

☆参加者募集中：刈り払い機を持った10人の侍募集 参加無料 定員約10名(申込み順)

※刈り払い機 2 千円補助 + 車両 (軽トラック・軽ワゴン・その他 4 輪駆動車等) 5 千円補助
持ち物～ヘルメット・作業関連の道具・雨具・飲み物・弁当・認め印

11月24日(日) 10時～15時 第7回 里山自然塾「晩秋の里山でキノコづくりを楽しむ」

☆参加募集終了：参加費 500 円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内
持ち物～飲み物・昼食・雨天時は雨具 定員 25 名 (申込み順)

11月30日(土) 10時～15時 森林ボランティア 1 日限りの作業班：高山小竹林整備
9時50分 大田市立高山小学校駐車場

☆参加者募集中：1 日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・手鋸・鉋
前日正午までお申込みをお受けします。会員の方には、交通費補助 2 千円を支給します。場所のわからない方をご相談ください。

12月1日(日) 10時～15時 第8回 里山自然塾「プレクリスマスの定番里山素材のリース作りを楽しむ」

☆参加者募集中：参加費 500 円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内
持ち物～飲み物・昼食・雨天時は雨具 定員 20 名 (申し込み順)

12月7日(土) 10時～15時 森林ボランティア 1 日限りの作業班：高山小竹林整備
9時50分 大田市立高山小学校駐車場

☆参加者募集中：1 日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・手鋸・鉋
前日正午までお申込みをお受けします。会員の方には、交通費補助 2 千円を支給します。場所のわからない方をご相談ください。

12月8日(日) 10時～15時 第9回 里山塾 食べ事「里山で生産されたキノコを食べる」

☆参加者募集中：参加費 1,000 円 昼食付 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内
持ち物～エプロン・三角巾・雨天時は雨具 定員 25 名 (申し込み順)
※自然塾以上に食べることにこだわります

12月8日(日) 9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合

自然観察会 (自然を撮ろう！カメラを持って集まろう！)。植物を学びたい方も是非。

森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。

☆参加者募集中：参加費 100 円 持ち物～カメラ持参をお勧め
前日正午まで申し込みをお受けします。

12月14日（土）～15日（日）島根県森林インストラクター等スキルアップ研修

12月14日

13時 オリエンテーション

13時15分 すぐに使えるネイチャーゲームの実演と取り組みの意義

ネイチャーゲームリーダー 野田真幹

※2月に久しぶり島根県でリーダー養成も行われるネイチャーゲームの魅力を実践しながら紹介します。

14時30分 休憩

14時40分 竹の話 森林体験活動サポートセンター 安達昌巳

15時10分 「竹細工の広場」イベントで指導する簡易な竹細工の実演情報交換会

全国森林レクリエーション協会認定森林インストラクター 中村正志

※簡易に指導できる作品の紹介や皆様からの作品紹介、最後は、各自1作品見本を作りましょう。紹介したい作品の持参も大歓迎です。

17時10分 休憩

17時20分 国産メンマづくり紹介 全林研女性理事 豊田真樹子

※ここ2年の研究成果を紹介していただきます。

18時20分 「竹から森林を救う」松江環境市民会議と楽山公園・出雲郷林地での取り組み

NPO法人もりふれ倶楽部事務局長 野田真幹

※松江環境市民会議ともりふれ倶楽部の約7年の取り組みの成果報告

19時 チェックイン

19時30分 懇親会

12月15日

9時 雑木林の木を使う究極のアウトドアクッキング 熾火で楽しむフルコース料理

NPO法人もりふれ倶楽部事務局長 野田真幹・もりふれ倶楽部スタッフ

※ お品書き

オードブル 季節野菜とキノコの蒸し物

パン 自然木や竹に巻き付け熾火で焼いたパン

スープ 竹鍋・熾火でつくるミルクスープ

魚 寒ブリのオリーブオイル焼き

肉 鶏むね肉の塩麴じたてゆずの香添え

デザート 焼リンゴ

13時30分 冬の自然観察会のポイント

全国森林レクリエーション協会認定森林インストラクター 中村正志

※ 何を観察したらよいか。この季節に注目したい自然とは？

14時45分 ふりかえり 野田真幹

☆参加者募集中：参加費 10,000円程度 1泊3食付 場所：島根県立ふるさと森林公園

※もりふれ倶楽部の会員は島根県森林インストラクターでなくても参加できます
もりふれ倶楽部事務局へお申込みください。

1月11日(土) 10時~15時 第9回 里山塾 食べ事「島根県内の雑煮食べ比べ」
☆参加者募集中：参加費1,000円 昼食付 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内
持ち物～エプロン・三角巾・雨天時は雨具 定員25名(申し込み順)
※自然塾以上に食べることにこだわります

1月12日(日) 10時~15時 第5回 里山自然塾「春の七草粥と餅つきを楽しむ」
☆参加者募集中：参加費500円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内
持ち物～飲み物・昼食・雨天時は雨具 定員20名(申し込み順)

1月12日(日) 10時~13日(月・祝) もりふれ倶楽部新年会・会員研修



NPO法人もりふれ倶楽部

〒699-0406 松江市宍道町佐々布3352

ふるさと森林公園学習展示館内 もりふれ倶楽部

TEL(0852)66-3586 FAX(0852)66-3586

メール morifure@coffee.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.morifure.jp/>